

第3号様式

令和5年度 第5回東部公民館運営審議会会議録

(令和6年4月 作成)

- 1 開催日時 令和6年3月21日(木) 午後3時00分～午後5時25分
- 2 開催場所 中央公民館 第3・4集会室
- 3 出席者
 - (1) 委員 大塚委員長、舟橋副委員長、加瀬委員、吉田委員、本間委員、蠣崎委員
 - (2) 事務局 東部公民館長、三田公民館長、習志野台公民館長、飯山満公民館長、薬円台公民館長
- 4 欠席者
 - (1) 委員 牧野委員、春日委員
- 5 議題及び公開・非公開の別並びに非公開にあたっては、その理由
 - 公開 (1) 令和5年度 公民館事業報告(12月7日～3月31日)について
 - (2) 令和5年度 「事業報告」について
 - (3) 令和6年度 「年間事業計画」について
 - 非公開 (4) 社会教育関係団体登録申請(新規)について
- 6 傍聴人 なし
- 7 決定事項
 - 公開 (1) 令和5年度 公民館事業報告(12月7日～3月31日)について 承認
 - (2) 令和5年度 「事業報告」について 承認
 - (3) 令和6年度 「年間事業計画」について 承認
 - 非公開 (4) 社会教育関係団体登録申請(新規)について 承認
- 8 議事 次ページへ
- 9 資料・特記事項 次回 令和6年5月2日(木) 午後3時から
- 10 問合せ先 東部公民館 電話047-477-7171

令和5年度 第5回 東部公民館運営審議会
議事録

日	時	令和6年3月21日（木） 午後3時30分～5時25分
会	場	中央公民館 第3・4集会室

午後 3 時 3 0 分開会

○事務局（東部公民館長）

それでは、事務局から連絡事項をお伝えさせていただきたいと思います。

まずは、配布資料の確認ですが、「令和 5 年度 第 5 回東部公民館運営審議会」、A 4 判の冊子が一部と、目玉事業評価シートを一部、それから 6 年度の事業計画、A 4 サイズのものを 5 館分、最後に A 3 判の大きい紙の 6 年度事業計画一覧を事前に郵送させていただきました。皆さん、お持ちでございますでしょうか。

また、机の上に配付いたしました社会教育関係団体の登録申請書を本日ご審議いただく予定でございます。それを一部置かせていただいたのと、「船橋の社会教育：令和 4 年度のあゆみ」ということで、冊子をお渡しさせていただきました。それから、教育委員会が発行している「まなびの風」を配付させていただいております。

なお、社会教育関係団体の登録申請につきましては、個人情報が含まれておりますので、本会議終了後に回収させていただきたいと思っております。

事務局からは以上でございます。

それでは、会議に先立ちまして、大塚委員長にご挨拶をお願いしたいと思います。

○大塚委員長

座ってご挨拶させていただきます。

皆さん、今日は令和 5 年度第 5 回の運営審議会ということで開催をさせていただきます。5 回ということは、早くも 1 年たってしまうということで、長い期間、館長さん、運営委員の皆さん、それから公民館の職員の皆さん、皆さんのお力でまた運営ができたということは大変ありがたく思っております。

「公民館における社会教育関係団体の望ましい在り方について」という冊子があり、ホームページにも出ているのですけれども、やっぱり市民の皆様と直接会話をしたり、市民生活や子育てやいろいろなことを担っているのは公民館の皆様だと思います。そして、事業を見ると、それぞれが年間 30 とか 40 とか 50 という事業を持ってやっという事は、何となく見えていますけれども、一つ一つにいろいろな人たちの力をいただいて、そして、そこに集まってくる市民の方から「よかったね」と言って帰っていただけるという、こういう相乗効果で、市民の方には公民館に対して極力協力しようという人たちも大勢いると思います。したがって、私たちが、短い時間ですけれども、やる以上は本当にこれが市民の皆様にとっていいのかなということも含めながらやるんだろうなと。

送られてきた資料を見ると、特に今年が目玉事業の評価・反省という部分が入っていました。この評価・反省という部分において、自分たちがやったことに対して、「いいところもあったね。でも、ちょっとここは足りないのかな」というところも見つけられる。そうすると、その次に、「では、それ以上にやってみようかな」という部分が、全てではな

いですが、あると思うんですね。それによって、どんどんどんどんいい状態に昇華していくのではないかなと思っています。そういう意味で、ここに座らせていただいている私も大変勉強になりますので、今後とも引き続きよろしく願いいたします。

今、お手元に、『『青少年健全育成講演会』のご報告』という資料があります。これについては、皆さんもご存じのとおり、2月9日に、加瀬さんや吉田さんや皆さんも参加をいただいていたと思うのですが、松戸船橋市長さんが、講演としては90分ぐらい、質疑応答を入れて2時間ぐらいの時間で講演していただきました。1つだけ大きな成果があったと思うのは、市長さんだからこそ全ての部門の内容を把握できていて、分かりやすく皆さんに青少年教育とかいろいろな問題の話をしてくれたと。そこで一番大事なことは、それをどうやって皆さんにお知らせするかということが今後の課題だと僕は思っています。

そういう意味で、皆さんもお持ちだと思いますけれども、市が6年の2月に出している「船橋の限りない可能性を活かす～今の取組みが未来を変える～」という冊子、15ページぐらいあるんですけども、こういうものも出ていて、大変一生懸命やられているなどということで、我々も協力して、努力していかなければいけないなと思います。

いずれにしても、今日は年度の最後ということで、また楽しい気持ちで会議を終わらせたいと思いますので、よろしくご協力のほどお願いいたします。ありがとうございました。

○事務局（東部公民館長）

ありがとうございました。

それでは、ただいまより、令和5年度第5回東部公民館運営審議会を進めさせていただきます。

なお、本日は、牧野委員と春日委員よりご欠席のご連絡をいただいております。委員8名のうち6名の方にご出席いただいております。船橋市公民館条例施行規則第15条第3項の規定によりまして、半数以上の出席がございますので、この会議は成立ということでございます。

また、会議の公開につきましては、船橋市情報公開条例第26条及び附属機関の会議の公開実施要綱の規定により、当審議会も原則公開となるところではございますが、本日は傍聴希望はございませんということで、ご報告させていただきます。

それでは、議事の進行につきまして、船橋市公民館条例施行規則第15条第2項の規定により、委員長が議長となりますことから、大塚委員長、議事の進行をお願いいたします。

○大塚委員長

それでは、本日の議事に入りたいと思います。

議題（1）「令和5年度 公民館事業報告（12/7～3/31）について」、東部公民館館長さんから順次説明をお願いいたします。委員の皆さんのご意見は、全公民館からのご説明を

受けてから頂戴いたします。

それでは、初めに東部公民館さんからお願いいたします。

○東部公民館長

東部公民館でございます。12月7日から3月31日までの事業について報告させていただきます。

まず初めに、青少年事業の「ハッピーサタデー事業」についてでございます。12月と3月の2回、会場はどちらも前原児童ホームをお借りしての開催でございます。

12月の「クリスマスフェスタ」につきましましては、ガールスカウトにご協力いただき、クラフトづくりやゲーム遊びを楽しみました。

また、3月2日の「子ども春まつり」については、「元気いっぱい前原っ子！こどももおともニコニコえがお」をテーマに、ボーイスカウトやガールスカウト、子供劇場、中野木小学校父親委員会など、地域の10の団体の皆様のご協力をいただき、開催いたしました。子供たちは、児童ホームの各部屋に設置された遊びのコーナーで各団体のスタッフとゲームや工作を楽しんだり、人形劇や一輪車の曲芸、ピアノとフルートのコンサートを鑑賞したりして、まつりを通して地域の団体の皆様と地域の子供たちの交流が図られた行事になったものと思っております。

次に成人事業についてでございます。「心も体も喜ぶ体にやさしい健康体操教室」につきましましては、前原地区の社会福祉協議会のご協力をいただき開催しております。10月から東部公民館休館のため、会場を前原小学校の体育館に変更して開催しておりますが、参加者の皆さんには会場を変更しても参加人数が減少することなく参加していただいていることを大変うれしく思っております。

次に、「家庭教育セミナー『二宮小学校家庭教育セミナー』」については、12月は「生と性の健康講座」、1月は「護身術」を、どちらも親子での参加で実施いたしました。「生と性の健康講座」では、5年生の児童と保護者を対象に、人形の教材を使いながら男女の違いについての確認をしました。また、後半では、命の始まりの大きさを知ることから始まり、赤ちゃんの人形をだっこする体験をしながら、命の尊さや力強さを感じるとともに、講師の方からは、「一人一人が大切な存在ですよ」「その人らしく、あなたはあなたらしくあればいいですよ」という温かいメッセージをいただきました。その言葉は、子供たちや保護者の心に残った様子でございました。「生と性の健康講座」は、思春期を迎える子供たちやその保護者の不安や疑問に寄り添い、親子で性に向き合うきっかけとなる大切な講座であると再認識したところでございます。

「護身術」では、土曜日開催で親子での参加が見られ、危険な目に遭ったときの対処法を基本から学ぶことができました。講師からは、「最強の護身術はみんなが平和であること」「感謝を言葉にする」など、大切な側面を教えていただいた講座になりました。

次に、その他として、まとめてではございますが、子育て支援事業として開催してまい

りました「子育てサロン『アイアイ』」「子育てサロン『ランラン』」「子育てサロン『おしゃべり広場』」「子育て支援事業『親子交流講座』」、これらにつきましては、年間を通して、これまでベビーマッサージやリラクソヨガ、絵本の読み聞かせ等を行ってまいりました。これらの事業を通して、お母さんたちの子育てによるストレスの解消を図ったり、親子のスキンシップを図ったり、そういった中でお母さんたちの交流を図る場を開催してきました。どの会でも、お母さんたちはリラックスした雰囲気の中で子供と向かい合いながら楽しく歌ったり、体を動かしたり、講座に参加していただいたお母さんや子供にとってとても大切な時間を過ごしているなど感じたところでございます。

最後に、「大江戸和船展示」についてでございます。この写真を皆さんにご覧いただきながらお話ししたいと思います。3月12日より、市役所1階の美術コーナーで、江戸和船文化研究会による70分の1の大きさで精密に再現した木造模型江戸和船の展示会を開催いたしました。海に面した漁師町の文化も根づいた本市として、江戸の和船のジオラマを展示しました。来館者からは、精巧にできている模型に大変関心が寄せられ、「江戸文化のふるさと船橋について触れられて、いい勉強になった」との声が寄せられました。この事業については、ホームページや市の広報紙にも掲載してPRをしたところでございますが、市民の方々から市役所にも直接多くの問合せをいただいた中で、たくさんの方が来庁され、見ていただきました。人数については、1,119名の方にご覧いただきました。「次はいつやるのですか」というリクエストもいただいた大変好評な事業でございました。

現在、東部公民館は、改修工事中でございますので、今後も引き続き、会場をお借りしながら事業を展開していきたいと思っております。

東部公民館からは以上でございます。

○大塚委員長

ありがとうございました。

では、続きまして、三田公民館さん、お願いいたします。

○三田公民館長

三田公民館が令和5年12月7日から実施いたしました事業についてご報告いたします。

まず青少年の「ハッピーサタデー事業」ですが、12月はフラワーアドバイザーの高橋かおり氏を講師に迎え、三田習地区青少年相談員の協力の下、「子どもフラワーアレンジメント教室」を実施いたしました。子供たち一人一人の個性あふれる作品が出来上がった後、講師から手入れの方法や愛情を込めて世話をすることの大切さについてお話もあり、子供たちが花や緑に親しむためのよい機会となりました。

1月は、船橋市スポーツと健康を推進する会東部コミの指導の下、ユニバーサルスポーツとお正月遊びを楽しみました。ボッチャや羽根つき、こま回しなど、子供たちが経験したことのない遊びを思い切り楽しむ姿が見られました。

2月は、三田習地区老人クラブ連絡協議会、東邦大学ボランティア部、アースドクターふなばし、三山児童ホームの協力の下、「子どもまつり」を実施いたしました。また、コロナ禍で中止していた模擬店も再開いたしました。参加人数の534人ですが、延べ人数となっております。

3月16日は、JALの客室乗務員を講師に、飛行機の整備の仕事や客室乗務員の仕事などを親子で楽しく学びました。参加人数のご記入をお願いいたします。保護者は、男4名、女8名、子供は、男7名、女5名、計24名です。

続きまして、成人対象です。三田中学校のPTAとの共催で実施してまいりました「家庭教育セミナー」では、親子の信頼関係の深め方、SNSなどのネットトラブルなどについて保護者に向けて実施してまいりました。最後となります3月1日、4回目は、9月に保護者向けに講演をしていただいた助産師の鶴岡利江子氏を講師に迎え、三田中学校3年生に向けて、思春期の心・体・性、そして命の尊さについて講演をしていただきました。

続いての「世界を知ろう！～千葉県から世界遺産は生まれるのか？～」は、世界遺産検定マイスターの片岡英夫氏を講師に迎え、世界遺産の種類、登録申請及び登録条件、登録基準などについて学んでいきました。また、世界遺産ではないのですが、世界的に大変貴重な地層であるチバニアンについてもお話ししていただきました。

続いての「血めぐり改善と睡眠習慣講座」は、今年度の新規事業でございます。血行促進と体を温める方法を学び、健康な体を維持していただこうと実施いたしました。参加者からは、「血流改善がよい睡眠につながるがよく分かった」「血流をよくする運動や食べ物などについて説明が具体的で分かりやすかった」「毎日の生活の中に取り入れていきたい」などといった声がございました。

続きましての「初めてのスマホ体験『かんたん入門編』」では、スマートフォンの基本操作について学びました。成人向けですが、参加者15人の年齢の内訳は、60代が1名、70代が10名、80代が3名、90代が1名と高齢者が多く、中には仕事で初めてスマホを使うことになったので申し込んだという方もいらっしゃるなど、スマホを初めて持つ高齢者に基本的なスマホの操作の講座を必要としている方がいらっしゃるようですので、来年度も同様の初心者向けの講座を実施してまいりたいと思います。

続いての「歴史講座」は、毎年度その年の大河ドラマをテーマに実施している講座です。昨年度、徳川家康をテーマに実施した講座では男性の受講生が多かったのですが、今年度は主役が紫式部ということが関係しているのか、女性が多く受講されました。

続いての2月4日、「三田セミナー 後期 健康と暮らし ～マイライフシリーズ～」は、新型コロナウイルス感染症に関するテレビ報道や番組に数多く出演されている東邦大学の小林寅喆教授を講師に招き、新型コロナウイルス感染症について今まで分かってきたことを整理しながら、これからどのように対応していけばよいか、分かりやすく解説していただきました。受講生からは、「今まで不安に思ってきたことが、先生のお話を伺い解

決した」など、大変好評でございました。

続きまして、高齢者対象です。期間内の「三田寿大学」は、実行委員の協力をいただきながら記載の内容を実施いたしました。令和5年度につきましては、高齢者の健康に役立つ知識や運動を習ったり、音楽を楽しんだり、他国や市内の身近な文化についてなど様々なことを学んでいただきました。来年度も高齢者の皆さんに役立つ講座、楽しめる講座を実施してまいりたいと思います。3月14日のマリンバコンサートの参加人数のご記入をお願いいたします。男8名、女47名、計55名です。

続いて、健康づくり課との共催事業、「認知症予防講座～楽しい脳トレ&体操講座～」 「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」は、記載のとおり実施いたしました。どちらも講師と受講生同士が楽しく交流を図りながら無理なく体を動かすきっかけづくりとなる講座であることから、来年度につきましても実施してまいりたいと思います。3月19日のシルバーリハビリ体操の参加人数の記入をお願いいたします。男0名、女35名、合計35名です。

続きまして、その他の事業です。毎月第一土曜日に実施しております「土曜卓球開放」は、期間内に3回実施いたしました。気軽に運動したり、地域の参加者同士が交流を図れるよい機会にもつながることから、来年度につきましても継続してまいりたいと思います。

続いての「ご近所コンサート」は、コロナ禍などで中止が続いておりましたが、今回第15回を開催することができました。演奏者から楽器についての説明があったり、観客からの質問があったり、演奏に合わせて参加者が歌ったり手拍子をしたり、演奏家と観客全員が交流を図れるよいコンサートとなりました。

続いての「三田ふれあいコンサート」は、毎年度三山市民センターの多目的室をお借りして実施しております。今年度は、ピアニストの伊藤辰哉さんとベーシストの内田大輔さんを招き、クラシックからタンゴ、なじみ深いポップスまで、魅力あふれるセッションを繰り広げていただきました。また、「いい湯だな」の演奏では、観客と掛け合いをして会場を盛り上げていただきました。来年度につきましても、身近な場所で上質な音楽に親しめる機会を提供してまいりたいと思います。

三田公民館からのご報告は以上となります。

○大塚委員長

ありがとうございました。

では、続いて、習志野台公民館さん、お願いいたします。

○習志野台公民館長

では、習志野台公民館の12月7日からの事業報告をいたします。

まず青少年事業でございますが、「ハッピーサタデー事業」といたしまして、12月9日に青少年相談員東部ブロックさんによる「もちつき大会」を4年ぶりに開催いたしました。

た。当日は大勢の子供たちが来館し、久しぶりの餅つき、また食べたりと、楽しんだよう
でございます。1月20日は、ガールスカウト千葉県第30団さんによる茶道体験を開催
いたしました。その下、2月17日、18日にこどもまつり実行委員会による「こどもまつ
り」を開催し、3月16日に親子コンサートを開催いたしました。3月16日の親子コン
サートの人数の記入をお願いいたします。子供合計41名、男17名、女24名、保護者が
36名、男13名、女23名、合計で77名の参加でございます。

2月17日、18日の「こどもまつり」も「もちつき大会」と同じく本格的な開催が4年
ぶりで、18日の日曜日は受付に長蛇の列ができ、昼前には用意していただいた食べ物も
販売終了し、スタンプラリーのカードも400枚用意したものがなくなってしまいました。
終了後に、こどもまつり実行委員会と反省会を行いました。その中で、開催時間が長かつ
たという意見も聞かれました。実際に、スタンプラリーカードもなくなってしまったの
で、子供たちがコーナーを回るだけになってしまいました。ですので、来年度以降は、ま
た実行委員会と調整しながら、時間を短縮して開催するなど工夫をして、子供たちが最後
まで楽しめるようにしていきたいと考えております。

「ハッピーサタデー事業」全体の評価といたしましては、先ほどの「もちつき大会」「こ
どもまつり」など、4年ぶりの開催もあり、大勢の参加がありました。子供たちも事業を
通してあらゆる体験をすることができたと考えております。毎年ハッピーサタデー事業
は青少年事業実行委員会と一緒に企画等開催しておりますので、今後も地域団体等と連
携を図りながら開催していきたいと考えております。

次の「書初め教室」は、新規事業として開催いたしました。12月23日と1月4日の開
催でございます。1月4日開催の「書初め大会」では、子供たちが書いているところを先
生が回って、子供たちも落ち着いて参加することができていたようで、冬休みの宿題の支
援ができたと考えております。

次の「職業講演会」は、習志野台中学校と共催で開催いたしました。医師や税理士、消
防官、ピアニストなど、いろいろな職業から子供たちが2つ選んで、自分が聞きに行きた
いところに行って聞くという形式で職業について学んだようでございます。

次のページに参りまして、「親子クッキング」でございます。こちらの内容は記載のと
おりでございますが、当日も親子で一緒につくる楽しそうな姿が見られました。

続きまして、成人対象でございます。「芸術鑑賞」は、記載のとおり、マンドリンとア
コーディオンのコンサートを開催いたしました。

次の「ときめき講座」とその次の「コーディネーター講座」でございますが、こちらは
どちらも習志野台公民館で活動する生涯学習コーディネーターとの企画事業として開催
いたしました。「ときめき講座」では源氏物語を、「コーディネーター講座」のほうではア
ンガーマネジメントを開催しました。どちらも定員を超える応募がありまして、大変好評
ございました。アンガーマネジメント講座は30代から80代と幅広い参加がありまし

て、あらゆる世代への講座提供ができたと考えております。今後も習志野台公民館の生涯学習コーディネーターと楽しく事業を企画していきたいと考えております。

次の「デジタルデバイド対策事業」と「家庭教育セミナー」は、内容、評価等は記載のとおりでございます。

次、高齢者事業です。「習志野台寿大学」は全部で9回実施いたしました。3月21日の講座は、ちょうど本日3時に終わったところでございますので、申し訳ございません、私のほうでは人数を把握しておりませんので、またホームページ等に記載させていただきたいと思っております。こちらの評価といたしましては、コンサートの開催や医師による講座まで、あらゆる分野の内容を提供できたと考えております。来年度以降も寿大学の運営委員と一緒に考えながら、近隣の高齢者の方が楽しく参加できるように開催していきたいと考えております。

次のページに参りまして、「介護予防教室」、それから「ふなばしシルバーリハビリ体操」は記載のとおり開催いたしました。「ふなばしシルバーリハビリ体操」は、高齢者が事前申込みなしで当日来て参加できるということで、かなり大勢の方がいらっしゃっているようでございますので、健康づくり課と共催しながらまた開催していきたいと思っております。最終の開催は3月22日になります。

続いて「ハッピーサロン」でございますが、こちらは記載のとおりです。次のページの初めになってしまうのですが、3月18日の人数の記入をお願いいたします。全体で6名、男0名、女6名でございます。こちらは、習志野台公民館の福祉団体と共催にて開催しております。高齢者が気兼ねなくふらっと訪れてお話しできる場として開催しており、楽しく参加できる場を提供できていると考えております。

その下、「習老協支援事業」に関しましては、評価等、記載のとおりでございます。

最後、その他事業になります。「地域ふれあいコンサート『ファミリーコンサート～ハーモニカでエールを～』」ということで、ハーモニカとギターの演奏を開催いたしました。内容、人数、評価は記載のとおりでございます。

次の「おもちゃの病院」でございますが、こちらは、月に1回、おもちゃ病院さんと共催で開催しております。こちらも問合せも多く、おもちゃをたくさん持ってきて、直って、皆さん喜んでお帰りになっているのではないかなと思っております。

次の「将棋開放」でございます。こちら明日最終日を開催いたしますので、人数はこの場ではご報告できません。評価でございますが、毎回開放ということなので人数はそれほど多くないのですが、小学生も1人毎回熱心に来て、大人と将棋を打ったりしております。それぞれの年代で楽しんでいただけているのではないかなと感じております。

次の「卓球開放」ですが、人数の記載をお願いいたします。3月17日、全体で20名、男7名、女13名でございます。こちら毎年開催しております。一定数の参加があり、一応定員は20名としているのですが、いつも17名程度です。もしかすると東部公民館

の改修の関係でうちにちょっと流れてきているかなというところで、20名ぎりぎりに達したのは初めてだと思います。20名を超えても、当然受付はする予定でございます。講堂を開放して実施しておりますので、人数は余裕があるところでございます。自分たちで卓球台を設置して、楽しくプレーする方や真剣に試合される方もいて、卓球を通して交流の場を設けることができていると考えております。

次の「子育てサロン」につきましても、3月13日の人数の記入をお願いいたします。全体で20名、男4名、女16名でございます。こちらは、習志野台地区社会福祉協議会と共催で実施しております。こちらでも毎回大勢の参加があり、子育てに関する情報交換や近隣の親子同士の交流の場を設けることができていると考えております。

習志野台公民館からは以上でございます。

○大塚委員長

ありがとうございました。

では、引き続き、飯山満公民館さん、お願いいたします。

○飯山満公民館長

飯山満公民館の該当期間の事業について報告いたします。

初めに、青少年対象の「ハッピーサタデー事業」です。1月は「ねりきり作り」でした。普通のお花などの練り切りではなく、節分の鬼の顔や鬼のパンツの練り切りでしたので、チラシに写真を載せたせいか、定員24名のところ43名の応募があり、抽選で参加者を決めました。

2月は、「はさまこどもまつり」を行いました。朝から雨が降ってとても寒かったのですが、昨年以上の参加者でにぎわいました。昨年度は模擬店で売った食べ物は持ち帰りをお願いしましたが、今年度は和室を開放し、食事処としたため、館内で食事をする方も大勢いらっしゃいました。ご協力いただいた地域の諸団体の方々には、寒い中、準備から後片づけまで本当に大変だったと思いますが、青少年の居場所づくりを地域ぐるみで盛り上げることができました。

次に、「書き初め教室」です。冬休み宿題応援企画で、書道塾に入っていない地域の小学3年生から6年生を対象に、船橋芝山高等学校の書道部顧問と生徒の方に指導していただきました。高校生のお兄さんやお姉さんから優しく教わり、どんどん上達していき、それぞれとても良い作品が出来上がりました。これだけ集中して取り組むことは家庭ではなかなか難しいと思われるので、宿題を早く上手に仕上げることができ、本人も保護者もかなり助かるのではと感じました。

次に、「児童ホームで体験しよう！」です。今回は、おこたんぺさんの大道芸を鑑賞しました。たくさんの親子が参加し、不思議なマジックに魅了されていました。大道芸に限らず、プロの技を間近で見ることは子供たちにとって貴重な体験となり、情操教育にもなるため、今後もいろいろな形で取り組んでいきたいです。

次のページに移りまして、「本館家庭教育セミナー」です。飯山満南小の6年生を対象にキャリア教育を予定していましたが、インフルエンザによる欠席が多いということで、今年度も中止としたいと学校から連絡があったところです。

次に、「二宮中学校職業講演会」です。「働くことや社会に貢献することについて考え、適切な勤労観・職業観を学ぶ」「自己を見つめ主体的な進路選択をしようとする態度を養う」「生き方（進路）に関する適切な情報を収集、整理し、自己の個性や興味・関心と照らして考えさせる」という3つのねらいの下、4つの職業の方のそれぞれの仕事内容ややりがいを伺い、生徒からの質問に答えていただきました。今すぐにはなくても、進路を選択するときの参考になることを期待しています。

次の成人対象事業、「はさまロングウォーク」です。二宮・飯山満地区町会連合会のほか、地域の諸団体にご協力をいただいて行う毎年恒例の事業ですが、今年度は約9キロと長い距離だったため、途中でかなり疲れている方も見られたので、距離や休憩場所等の検討が必要と感じました。

次に、「お正月を手作りミニ門松で迎えよう」です。定員の3倍近くの応募がありました。参加者からも、参加できなかった方からも、来年度の開催を要望する声が多く寄せられました。講師側も館側も準備は大変ですが、出来上がりを見た参加者の満足度はかなり高く、日本の伝統文化に触れることもできるので、毎年開催したいと思っております。

次に、「ニュース番組の舞台裏と話し方講座」です。こちらは新規事業ですが、計画シートには載っておりません。ふだんテレビで見ているニュース番組の裏側について話していただいたので、参加者はより興味深く聞き入っていました。また、実際のニュース映像に合わせて原稿を読んでみて、時間どおり読むことが難しいことも体験できました。内容が盛りだくさんだったので、講座の時間をもう少し長くしたほうがよかったかと反省しております。

次に、「家バルのススメ～日本酒編～」です。昨年度ビール編とワイン編を2回講座で実施し、今年度は日本酒編としたシリーズ企画です。初めて公民館にいらした方、30代から50代の方や、男性一人で参加された方などがおり、おおむねねらいは達成できました。一緒に調理や試食をしながら仲よく話をしている参加者を見て、主催した館側も楽しい気分になりました。

次に、「デジタルデバインド対策講座 はじめてのスマホ体験（スマホの基本とキャッシュレス決済）」です。参加人数のご記入をお願いいたします。男8人、女7人、合計15人でした。初めに基本的な操作の仕方の説明があった後にキャッシュレスの説明になるのですが、基本的操作はほとんどの方がそこそこできているので、キャッシュレスについての説明を多めにいただいたほうがよかったと感じました。来年度も実施するので、講師と検討していきたいと思っております。

次に、高齢者対象「飯山満寿大学」です。2月は、TBSテレビで放送している「プレ

バト!!」のように、参加者から募集した俳句を1句ずつパワーポイントでスクリーンに映し、講師の添削をそれぞれ行いました。俳句が集まらないことも懸念していましたが、蓋を開けたら66句も集まり驚きました。

3月の参加人数のご記入をお願いします。本日実施したのですが、男17人、女54人、合計71人でした。「ポップス&オールディーズコンサート」ということだったのですが、おとといこのコンサートの方がお一人亡くなったということで、急遽違うバンドの方に来ていただいて、昭和歌謡をみんなで歌うことができました。

毎年、生涯学習コーディネーターと職員と協議した、教養、健康、国際交流、音楽、落語と多岐にわたる講座を行っています。参加者から、「飯山満の講座は面白い」と言っていただき、とてもうれしかったです。来年度も趣向を凝らした講座を企画しているので、毎月楽しみに通っていただけることを期待したいです。

次の「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」は、全10回が終了しました。年1回の市民ヘルスマーケティングでは、優先的に取り組みたい健康課題や個人でできる取組などを話し合いました。参加された数少ない男性は、「毎回通ってくるのが楽しい」と発言され、体操はもちろん大切ですが、毎月通って交流を図ることも大きな意義があると感じました。

次の「シルバー蕎麦打ち教室」は、記載のとおり行いました。

次の「シルバー男性料理教室」は、凝った料理ではなく、帰ってから家にある材料ですぐに実践できるような家庭料理を学ぶ教室です。男性のみで月に1回、合計6回実施することで、初めは慣れない手つきで行っていたものが、最後には大分手際がよくなってくるとともに、顔見知りになることで楽しみながら参加されていました。高齢男性の貴重な交流の場となっているため、次年度も継続したい講座です。

最後に、「ゆびとま子育てサロン」です。月によってばらつきはあるものの、多いときは20名近くの参加者があるときもありました。親子連れの来館が少ない公民館ですが、リトミックや英語の絵本読み聞かせ、赤ちゃんマッサージなど、いろいろな内容を実施しているので、もっとたくさん来ていただけるよう、周知方法を地区社会福祉協議会と検討していきたいと思っております。

飯山満公民館は以上です。

○大塚委員長

ご苦労さま。ありがとうございました。

では、最後に、薬園台公民館長さん、お願いいたします。

○薬園台公民館長

薬園台公民館の該当期間の事業について報告させていただきます。

青少年事業、「ハッピーサタデー事業」となります。「かきぞめ教室」は、薬園台高校と連携し、今年度より始めた事業となります。薬園台高校書道部の先生と8名の書道部員

が、小学3年生から6年生、計34名に書き初めの指導をしました。初めは緊張した表情の小学生でしたが、徐々に高校生と打ち解け、2時間、集中力を切らさず真剣に取り組み、今日の一番の作品を選びました。「新春！獅子舞ショー」では、泣き出す子も多く、にぎやかなものとなりました。カーリングをモデルとしたアタック5は、全員が初体験でしたが、ルールをすぐに覚え、盛り上がりました。3月3日に実施した「やくえんだい子どもまつり」は、お天気にも恵まれ、多くの来館者がありました。焼きそば、綿あめなどの模擬店、七林中学校管弦楽部の演奏会、そのほか多くの催し物で盛り上がりました。サークルの方は、「コロナ前に戻ったようだ」と話されていました。

続きまして、「学社連携事業 クラブ活動支援事業」になります。一年を通じて練習した成果を披露する発表会を体育館で行いました。一年前に比べ、構えも立派になり、堂々とした演奏でした。

続きまして、「本館家庭教育セミナー」になります。「親子でクッキーづくり」「五感を育てるおもちゃ作り」を実施いたしました。「五感を育てるおもちゃ作り」では、父親の参加が当日6組もあり、育児への父親の積極的な関わりが感じられました。月齢に合わせたおもちゃの紹介や、ふだん遊んだことのないおもちゃに夢中になり、「大変満足」との感想がほとんどでしたが、「おもちゃ作り」をタイトルとしていたため、つくったおもちゃが1個で、「もう1つぐらいつくれるとよかった」という感想もいただきました。これから実施する「親子で楽しむコンサート」につきましては、定員がいっぱいになっており、現時点で父親の参加も15組中11組予定されております。

続きまして、「薬田台南小学校PTA家庭教育セミナー」となります。インターネットの危険性や性教育など、現代社会で子供たちがトラブルに巻き込まれがちな問題などを取り上げ、外部講師を招いて開催されました。高学年と保護者を対象としました。子供も保護者も非常に熱心に講師の話に耳を傾け、深く学ぶことができました。

続きまして、「スマートフォン講習会」になります。4名の市民コンシェルジュが個別に対応しました。どの相談者も時間いっぱい使って相談し、丁寧に教えてもらっていました。

続きまして、「大人のヨガ講座」です。昨年大変好評だったので、再度の開催となりました。今回も定員の4倍を超える申込みがあり、関心の高さがうかがえました。年齢に関係なく、自分のペースで楽しむことができました。

続きまして、「やくえんだい福寿大学」です。歴史を学びたいという声から、今回は「ふなばしの街道」をテーマに、また、ふだんなかなか聞くことのできない落語、高齢者の相談窓口になっている地域包括支援センターについての講座を実施しました。「年間を通じて楽しみにしている」との感想も多くいただきました。

続きまして、「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」になります。回を重ねるごとに参加人数が増えている状況です。

続きまして、健康づくり課との共催で行っております「介護予防事業」になります。歌や体操等、多岐にわたる内容で、非常に活気のある事業となりました。最初は恥ずかしがっていた参加者も、回数を重ねるごとに積極的に歌ったり踊ったりするようになり、とても楽しんで参加しておりました。

続きまして、「カンガルーぼっけ」です。人気の「おひるねアート」や、東部保健センターの保健師、歯科衛生士、栄養士の講話、絵本の読みかたりなどを行いました。専門に応じた相談も受け付けました。

続きまして、「ふなばし音楽フェスティバル薬円台ふれあいコンサート」です。申込み開始から40分で定員に達しました。当日までキャンセルがないかとの問合せをいただいたほどです。ふだんあまり聞く機会のないバンドネオンの独特な音色と、そのバンドネオンと相性のよいピアノの音色によるタンゴの演奏に魅了されている方が多く、また、トークも軽快で、満足度の高いコンサートとなりました。高齢者の方からは、「遠方にコンサート鑑賞に行くことが難しくなっているため、家の近くで質の高いコンサートを開催していただけるとありがたい」との声をいただいております。

最後に、「地域緑化支援事業」になります。年2回植付けをし、常に花壇の管理をしております。水やりを手伝いたいとお問合せもいただきました。きれいで活気あるまちづくりに貢献できたと思っております。

薬円台公民館からは以上となります。

○大塚委員長

ありがとうございました。

ただいま、東部公民館以下5館の館長さんのほうから、1年間の事業報告をいただきました。全公民館からご説明いただきましたので、委員の皆様からご質問または意見がございましたらお願いいたします。いかがでしょうか。

お願いいたします。

○本間委員

毎回男女の参加人数を見ていると、大体男性の方が少ないのかなというのがあります。要望は、男性の方から「こういうのをやってくれ」というのは多分出てくるとは思いますが、参加が少ない。全部データを見ていたら、男性が少ない。

それと、これから公民館に要求されることとして、青少年の子供を取り入れる方法。今、学校に行っていない子供がすごく多いです。去年は24万人、今はもう30万人は行かないと言われている。やはり青少年の居場所的などところもつくってあってあげて、身近な公民館、特に薬円台は学校が近いから、そこにちょっとしたものがあると本当はいいのかなと思いつつ様子を見ています。結局、青少年の行く場所が今は本当はないなど。みんなゲームとSNSで交流しているから、トラブルがいっぱい入ってくるというだけです。さっきも目玉事業という情報を見ていたときに、二宮地区は6歳から10何歳の子が何人も

いるということで、結構いっぱい住民がいるんだなと思って見ていたのですが、そういう子供のことも考えながらやっていくのも大事なというのは、公民館の役割として何となく感じています。

児童ホームは児童ホームでやるけれども、18歳で終わってしまっている。18歳でも5時頃で終わらせてしまう現状を見ていると、その後に行く場のない子が本当にいっぱいいます。スケボーをやれば文句を言われる。何かと考えていたら、ちょっとしたカフェではないけれども、居場所のカフェ。今、市川のほうの工業高校では、高校生の居場所のためのカフェをつくって、夕方か何かにやっているのだけれども、そういうことも少し考えていっていただけるといいのかなと、データを見て、数字と参加の人数を見ていたら感じたところです。

○大塚委員長

ありがとうございました。

今、本間さんのほうから、一つの意見として、青少年の問題で、船橋も青少年問題は全体的にいろいろな話がされていますが、いざということになると、市役所の中でも青少年に関わる課というのはいろいろ多く出てきているわけです。そういう中で、どういう分け方をして、何をもちその課は青少年問題を取り上げるかということについてはこれから進めていかれるとは思いますが、公民館がこれだけの事業の中で青少年問題をどう取り上げるかというのは、公民館だけの考え方でできるわけではないので、市全体として青少年の教育をどういうふうにするか。やはり活動が楽しくて、それに基づいてさらに健全な生活を、仲間を増やしたり、いろいろな話合いができるかというのは、なかなか一朝一夕にはいかないと思いますが、その部分を踏まえた上で、少しずつみんなが考えて提案していく。この提案は公民館だけの提案ではないので、市の中で青少年の問題をどう扱うかという大きな分野がありますので、そことの兼ね合いを、市の上のほうの方も、教育長さんが中心になってくると思いますが、いろいろな情報を入れながらやっていく必要はあるかと思います。

なかなか一朝一夕ではいかないと思いますが、我々が一步先を見て検討することも必要かと思います。皆さんすてきな公民館長さんばかりですから、希望を持って私も頑張りますので、よろしく願いいたします。ありがとうございました。

それでは、委員の皆さん、公民館事業報告について採決をさせていただいてよろしいですか。

それでは、採決をさせていただきます。各公民館一括してご承認の採決をさせていただきますが、ご承認いただける方は挙手をお願いいたします。

(全員挙手)

○大塚委員長

ありがとうございました。全員一致で賛成いただきましたので、令和5年度公民館事業

報告をご承認いただきました。

続きまして、議題（２）の「令和５年度『事業評価』について」及び議題（３）の「令和６年度『年間事業計画』について」、これを併せて東部公民館長から順次説明をお願いします。５年度の事業評価が新しく出たので、この評価について前もってお話しして進めてください。お願いいたします。

○東部公民館長

東部公民館でございます。今回、令和５年度最後の公民館運営審議会開催に当たりまして、令和５年度の目玉事業の評価、それから、評価を受けた中で令和６年度の事業計画ということで、順次各館より説明させていただきたいと思っております。

まず、お手元の資料「令和５年度 東部公民館 『目玉事業』の評価」でございます。資料の構成につきましては、１枚目が令和５年度の目玉事業の評価、２ページ目は令和６年度の事業計画、様式４というものでございます。その次のページは、この様式４を受けた「事業計画シート」ということで、事業ごとの概要を掲載しているページでございます。各館ごとに説明をさせていただきたいと思っております。

それでは、まず東部公民館からでございます。令和５年度の目玉事業、「手話であそぼう！」という事業につきまして、令和５年６月から８月まで、月１回の３回講座として進めさせていただいた事業でございます。この事業は、共生社会の実現に向けた中で、障害者に対する理解を深めるとともに、参加者同士の交流の場を提供することを目的に開催した事業でございます。

この評価につきましては、今年度の公民館運営審議会の中でも報告させていただきましたが、概要を説明いたしますと、１回目については、「聞こえないってどういうこと？」の講演会、第２回は、参加者・障害者混合チームに分かれてボッチャに挑戦し、試合を繰り広げる、第３回については、海外の聾者ともコミュニケーションが取れるよう、国際手話について学習した講座でございました。

これらの講座を通しまして、まずは障害者団体の方々にこの講座に大変ご協力をいただき、指導をしていただいた。その中で、障害者と参加者との盛んな交流が図られ、大変意義のあった事業だと思っております。参加者からは、「障害者に対する知識や理解を深める機会になった」という感想も寄せられております。また、大人のほか、小学生にも参加していただいて、参加された子供たちにとっても貴重な経験になったと大変強く感じた事業でございました。今後も、障害者団体と協力し合いながら、お互い共通理解を図る中で、共生社会の実現に向けた事業を展開していきたいと考えているところでございます。事業をやってみた中で、引き続きこの事業は計画していこうと思っております。

次のページ、令和６年度の事業計画につきまして、この書面の構成上、１番の「地域の状況」、２番の「地域の課題」、３番の「重点目標」、この番号の見出しについては各館共通でございます。

その中で、特にこの場をお借りしてお伝えしたいのは、3番の重点目標でございます。3番の重点目標の(1)、特に東部公民館は大規模改修工事のため休館となっている中でも、引き続き地域の学習ニーズに応えるべく、近隣の児童ホームや小学校、他の公民館をお借りして、多彩な事業を展開していきたいと考えております。

次の(2)、青少年向けの事業についても、特に力を入れていく必要があるかと思っております。特に、青少年の体験活動や、主体性を伸ばしていく事業に取り組んでいきたいと考えております。

次のページ、(8)については、先ほどの休館中の公民館ということにも重なるところではありますが、社会教育関係団体の支援を行うとともに、日頃の活動の成果の発表の場を設けるということで、目標に書かせていただいております。文化祭について、後ほど説明させていただきますが、休館でも、中央公民館の場所を借りて日頃の成果の発表の場を設けたいと考えているところでございます。

次のページの様式5、「事業計画シート」に移らせていただきたいと思っております。各館の目玉事業として位置づけたところが二重丸、一重丸については新規事業でございます。

まずは二重丸です。私どもは、令和6年度は「青少年の健全育成・居場所づくり」をメインテーマとした「バスハイク」を目玉事業として取り組んでいきたいと思っております。先ほども申しました体験活動を通して自然と接する中で子供たちの主体性を伸ばす。これまでも、筑波山の登山、または青少年キャンプ場等の自然豊かな中で、子供たちの主体性を生かした活動に取り組んでまいりました。令和6年度につきましても、青少年相談員の皆さんにご協力いただきながら、バスハイクを通しまして、子供たちの豊かな体験活動を提供していきたいと考えております。内容等については、これから組み立てていくものですので、未定と書かせていただいております。

新規事業については、8番、10番、11番、12番と掲げてありますが、26番を見ていただきたいと思えます。「文化祭」でございます。先ほど申しました発表の場ということでございます。私どもの東部公民館サークルから、やはり発表の場がないと練習の励みにならない、モチベーションが高まらないという声が寄せられております。実際に、ほかの公民館の文化祭に参加させてくれないかということで、地区館の館長に相談に行かれているという情報も寄せられています。

そんな中で、この東部公民館の文化祭としては、場所は異なりますが、この中央公民館の会場を10月にお借りして、ここで発表の場を設けたいという考えでございます。今のところ、10月5日、6日の第一土曜日、日曜日という日程で東部公民館のサークルさんに呼びかけをして、どれぐらいサークルさんが集まってくるかは分かりませんが、アンケート調査等を取らせていただく中で、開催に向けて準備を進めていきたいと考えているところでございます。

東部公民館からは以上でございます。

○大塚委員長

ありがとうございました。

では、続きまして、三田公民館長さん、お願いします。

○三田公民館長

三田公民館の令和5年度の目玉事業の評価についてご報告させていただきます。資料の「令和5年度 三田公民館 『目玉事業』の評価」をご覧ください。

目玉事業は「地域の健康課題と対策」でございます。看護を学ぶ学生が地域団体の活動に参加し、親睦と相互交流を図る中で、健康への課題やヘルスニーズを見だし、地域で生活する人々の健康増進や健康意識の向上を図ることを事業のねらいといたしております。

具体的な事業内容といたしましては、東邦大学健康科学部看護学科の学生に、体操や脳トレ、筋トレといったふだんから行っているサークル活動を一緒に体験していただいた後、学生からサークル会員に、日頃から健康のために取り組んでいることなどのインタビューを行い、地域住民が抱えている健康への課題などについて探っていただきました。後日、学生たちがこの事業を含めた地域調査を基に作成した冊子、「ウォーキングでいつまでも健康に！」を公民館内に配架し、来館者にご覧いただくことで、今回の事業のねらいであります地域の健康意識の向上を図ることができたと考えております。また、今回の事業は、地域の健康増進を住民と学生がともに考えていくよいきっかけとなるものでありますので、今後も継続していきたいと考えております。

続きまして、令和6年度の目玉事業でございます。様式5、A3の用紙になりますが、そちらのナンバー40をご覧くださいければと思います。目玉事業として、国際交流員を講師に「ベトナム料理教室」を実施いたします。船橋市において、ベトナムの国籍を持つ方は中国の次に多いこともあり、今後、ベトナムの文化について学び、理解を深めることは重要と考えます。今年度の「三田寿大学」にて、ベトナム人国際交流員のグエン・ティ・チャーさんを招き「ベトナム文化講座」を行いましたところ、「あまりよく知らない国だったが、親しみを持ってました」などと、受講生から高評価をいただきました。「ベトナム料理教室」では、グエン・ティ・チャーさんと一緒に料理を行っていただくことで、ベトナム文化について受講生一人一人が楽しく学びながら、さらにベトナムについて理解を深めていただく機会になればと考えております。

続きまして、三田公民館の令和6年度の新規事業についてご説明させていただきたいと思っております。新規事業は、様式5の「事業計画シート」の12番になります。日本スクエアダンス協会から講師を招き、「スクエアダンス教室」を実施してまいりたいと思っております。スクエアダンスは、カントリーやウェスタンの曲に合わせ、8人一組で踊るフォークダンスのような踊りです。激しい動きがないので、子供から高齢者まで楽しめることから、

様々な年代の方が楽しみながら交流を図れると考え、実施することといたしました。

そのほか、新規事業は41番の「サークル支援事業」でございます。三田公民館においては、令和2年度に43団体あった社会教育関係団体が、令和5年度には33団体と、10団体も解散してしまっております。高齢化による会員の減少や、コロナ禍で活動ができなかったことなど、理由は様々ございますが、まずは、会員の減少により活動が難しくなっている社会教育関係団体への支援として、サークル体験・見学会を実施してまいりたいと思っております。

三田公民館からは以上です。

○大塚委員長

ありがとうございました。

それでは、習志野台公民館さん、お願いいたします。

○習志野台公民館長

では、「令和5年度 習志野台公民館 『目玉事業』の評価」についてご報告いたします。資料をご覧ください。

この事業は、令和5年度の事業計画の地域課題の中で挙げました「地域住民は、趣味・学習・教養サークルへの参加意欲が旺盛である」に対応いたしまして、成人事業の「リカレント教室『口もとの魅力アップ講座』」として実施いたしました。令和4年度に引き続いての開催となりますが、講座のメインターゲットを40代から50代の現役世代と設定いたしまして、内容も、呼吸法、口元の筋力アップ法、感じのよい受け答えなど、仕事に生かして、また、コミュニケーションに悩む方の一助になるものとして企画いたしました。結果としては、40代、50代の参加は全体の33%、3分の1ぐらいでございましたが、日頃公民館ではあまり目にしない世代の参加がありまして、企画どおりできたのではないかと考えております。

評価に続きまして、次の様式4、令和6年度事業計画をご覧ください。地域の状況は記載のとおりでございます。地域課題について、令和6年度は5つの課題といたしました。それぞれに対応する重点目標を、3の重点目標に掲げてございます。こちらに記載した内容を踏まえまして、令和6年度の目玉事業及び新規事業についてのご説明をさせていただきます。

次のA3判、様式5の「事業計画シート」をご覧ください。

まず目玉事業でございますが、17番、「サークル応援講座」といたしまして、習志野台地域の歴史短期集中講座を考えております。区分としては「サークル応援講座」となっております。こちらの講座は、習志野台公民館で活動しております社会教育関係団体の習志野原歴史研究会との共催事業でございます。

講座を策定するに当たりまして、こちらの団体から相談がありました。歴史サークルが、地域での歴史を語るガイドボランティアを養成したいと考えておりまして、そうした

ガイドとしてサークル活動にも参加してもらって、何か地域の町会等の会が開催される
ときにガイドができないかということで企画したようでございます。習志野原について
全3回で地域の歴史講座を開催し、その後、団体活動の中で数回程度、サークルの活動に
興味を持ってもらい、会員となってもらえればと考えての講座となります。公民館として
も、サークルの会員を増やすことはほかの体験会などでも実施していくところでありま
すので、団体が自分たちで考えて実施していきたいと考えている講座を応援していくこ
とが会員増につながって、また、ガイドボランティア育成にもなり、公民館としても講座
も実施できるという意味で、効果のある講座と考えております。

続きまして、新規事業でございます。15番、「サークル見学会」を新規に設定してお
ります。先ほどもお話をさしあげましたように、サークルの会員増は公民館の重要な課題
として捉えております。こうした中で、サークル活動をより地域の人に知ってもらう機会
として、実際に活動しているサークル活動に入ってもらって、体験してもらうことがより
効果が高いと考えて、講座を設定いたしました。あらゆる機会を通して公民館サークルに
ついて知ってもらうことがこうした支援につながると考えております。

習志野台公民館は、来年度、新規事業は一見少ない感じがいたしますが、令和5年度か
ら実施して好評でありました21番の「鉄道ジオラマを作ってNゲージを走らせよう」講
座、また、19番、20番に生涯学習コーディネーターとの共催講座というものがございま
す。こちらは、先ほどの報告でもお話しさせていただいたように、毎回毎回コーディネ
ーターさんが企画から入っており、新規とみなすこともできるものであるため、このよう
にさせていただいております。講座に関しましては、引き続き効果を見ながら改善などして
実施していくところでございます。

最後に、先ほど令和5年度事業評価で目玉事業として説明をさせていただきましたリ
カレント教育に関しまして、令和6年度の11番に「魅力アップ講座」として、令和5
年度は1回の実施でしたが、2、3回程度の学級・講座での開催として内容を充実させて
実施していく予定としております。

習志野台公民館は以上でございます。

○大塚委員長

ありがとうございました。

それでは、次に、飯山満公民館長さん、お願いいたします。

○飯山満公民館長

飯山満公民館の令和5年度目玉事業の評価についてご報告します。

今年度も、昨年度に引き続き、地域課題の一つ、大人が学習する場と機会の提供、及び
ふなばし一番星プランのリーディングプロジェクトにある新しい利用者層の開拓を重点
に事業を進めてきました。

当館は、児童ホームが離れているせいもあり、子供連れの利用者が少ないです。現役世

代や子育て中の保護者が興味を持ちそうな講座を託児つきで企画し、オンライン申請での受付のほか、近隣小学校に保護者向けのチラシを配付したり、東部保健センターにチラシを置かせてもらったり、広報に写真つきで掲載するなど、周知方法を工夫したことにより、小学生以下のお子様を持つ30～40代のお母様が参加してくれました。当日は、お子様の具合が悪く欠席された方もいらっしゃいましたが、4名の方が託児を希望されました。講座後のアンケートでは、「託児つきだったのでとてもリフレッシュできた」「初めてやることだったので、新鮮で楽しかった」など、喜んでいただきました。3回同じメンバーで集まることで皆さん仲よくなり、子育ての話をしたり、連絡先の交換をしたりしていました。子育てに追われる母親にリフレッシュする機会を提供するとともに、交流や情報交換の場とする、また、新しい利用者層の開拓につなげるというねらいは達成できたと思われます。次年度も、大人が学習する機会の提供及び新しい利用者層の開拓の実現に向け、地域の方に興味を持っていただけるような講座を計画しています。

次に、様式4をご覧ください。地域の課題の(3)、大人が学習する場と機会の提供については引き続き重点を置きますが、新たに地域の課題の(4)に、ふなばし一番星プランのリーディングプロジェクトに共生社会実現のための取組の充実があり、当館には外国人も障害のある方もあまり来館されないため、その方々への理解が必要という課題を追加しました。これを受けて、重点目標の(4)は、「国籍の違い、障害の有無など多様な人々との交流・体験の機会を提供し、相互理解を促すことにより、『共生社会』実現に向けた取り組みの充実を図る」にしました。この重点目標に合わせ、令和6年度の目玉事業を企画しました。

それでは、令和6年度の目玉事業についてご説明させていただきます。「事業評価シート」をご覧ください。15番の「多文化共生のための学習」で、「体験して感じて！見えないってどういうこと？」という事業です。成人を対象に、アイマスクをつけた白杖・点字ブロック体験を実施しようと思っております。学校では授業の一環で体験することもあるそうですが、大人になってからはなかなか体験できないと思うので、企画しました。実際に、真っ暗な中、白杖をつきながら点字ブロックなどを歩いてみると、視覚に障害のある方の気持ちがより一層分かるのではないかと。また、体験することにより、ふだん何気なく通っている道の危険箇所などに気づくことができるのではないかと考えております。

また、この講座を録画・編集し、生涯学習チャンネルで動画配信し、広く市民に見ていただこうと思っております、16番に新規事業として記載しております。

次に、令和6年度の新規事業です。飯山満はすごく多いので、さっと行きます。

3番、「夏休み宿題応援企画『図書館探検と読書感想文教室』」。いろいろな宿題応援企画を実施してはいたしましたが、読書感想文教室はやっていなかったもので、来年度から実施したいと思っております。1回目に、西図書館に連れていき選書をし、書庫や児童書ゾーンを案内してもらい、2回目に、当館で西図書館の元国語科教諭を講師に読書感想文の書き方を

習います。

7番、「クラブ活動支援」。飯山満南小学校の校長先生からの要望により、実施できそうな社教団体に声をかけているところです。

8番、「サークル応援企画&学びなおし 大人のやさしい英会話」。これは、サークル支援とリカレント講座を兼ねております。英会話サークルに体験をさせたいということでご相談したところ、体験として来て一人一人で入ると緊張してしまうので、英会話講座として実施すれば、その後入ってきやすいのではないかということになり、金曜と土曜、2つの英会話サークルの講師が同じ方だったため、それぞれのサークル練習日に合わせて、2回ずつ、「大人のやさしい英会話」講座、コミュニケーション編と旅行会話編として実施することにしました。講師だけでなく、会員さんにもアシスタントとして協力していただきます。感染症の流行が落ち着いて旅行の機会も増えたこの時期に、英語の学び直しのきっかけをつくるとともに、継続的な学習につながるよう支援するということで、リカレント教育にもなると思っております。

9番、「お天気の前井キャスターが教える防災と地下神殿見学」。「防災学習の推進」で「気象防災情報の見方と使い方～自分の命は自分で守る～」ということで、前井キャスターに来ていただきます。2回目に、春日部にある首都圏外郭放水路見学を予定しております。春日部で少し遠く、それだけを見に行くのはもったいないので、近くにあるグリコピア CHIBAなどの工場見学を組み合わせ、バス研修にできればと思っております。

13番、「<ワクワクする暮らし>食品サンプルを作ろう!」。世界で注目される食品サンプルづくりを通して、日本文化を再考する機会とします。

14番、「<エシカルな暮らし>マイ箸を作ろう!」。世界に一つ、自分だけのお箸を手づくりし、人や社会・環境に優しいものについて考えます。

15、16は先ほどご説明したとおりです。

17番、「<輝きのある暮らし>ステンドグラスでオーナメントを作ろう!」。ステンドグラス制作を通して、季節ごとの暮らしを心豊かに楽しむきっかけづくりとしたいと思っております。

22番、「教えて!私のスマホの使い方」。ソフトバンクの講座ではソフトバンクのスマホを借りて実施するのですが、今度は自分のスマホでデジデバ体験をしていただこうと思っております。

23番、「スマホの写真整理ってどうするの?」。今年自撮り講座を行った際に一番質問が多かったのが、写真の整理の仕方、クラウドなどの使い方だったため、フォトグラファーをお呼びして、これについて学びたいと思っております。

24番、「飯山満公民館でニ－ハオ! 西安風バーガーを作ろう」。これは、共生社会ということでワーキンググループが考えた多文化共生事業で、中国の文化に触れたいと思っております。

25番、「70歳からのメイク講座」。女性はいくつになってもきれいでいたいという願望が多かれ少なかれあると思われ、また、お化粧をすることにより、明るくなったり出かけたくなったりする。老人施設等でも、お化粧をすることにより表情が明るくなったりするとのこと。また、何十年か前に覚えた化粧方法のままの方も多くいると思うので、今回は、大人ではなく、あえて70歳以上に限定してみたいと思います。

30番、「シニアのためのライフホップダンス」。今までは、総合型介護予防教室等で、椅子に座ったままの体操や、無理をしない程度に体を動かす講座が多かったのですが、今年当館で初めての介護予防教室の講師となったオウカス船橋が、こちらから見たら難しかったり無理ではないかと思うような体操や、音楽に合わせたエアロビクスのようなものを実施した際、参加者からのアンケートで、「難しかったが、ついていこうとする気持ちになれたことがよかった」など好評で、初めから無理をさせないようにと簡単なカリキュラムを企画するのではなく、参加者の様子を見ながら、達成感が得られるような内容を企画するのも大切だと感じ、他館で好評だとされる講師をお呼びしてやってみようと思いました。

31番、「マツトス&スマホ教室」。脳トレ健康づくりとデジタルデバイド対策です。

32番、「地域文化の継承」で、「船橋の神楽上映会」。飯山満町大宮神社の神楽は、市指定無形民俗文化財に指定されていますが、夕方から開催され、講座として実施するのは難しいため、文化課が所有するDVDを一日上映し、興味のある方に自由に見に来ていただくような上映会を行おうと思っております。興味のある方が多いようであれば、次年度に神楽について学ぶ講座を実施するのもよいかと思っております。

飯山満公民館からは以上です。

○大塚委員長

ありがとうございました。

では、最後に薬園台公民館長さん、お願いいたします。

○薬園台公民館長

薬園台公民館の令和5年度の目玉事業の評価についてご報告いたします。

今年度は、薬園台高校と連携して実施しました「薬園台高校園芸科による寄せ植え体験」を報告いたします。薬園台高校園芸科の生徒が育てた花を寄せ植えしながら、園芸への興味を促すとともに、地域住民と高校生、参加者同士の交流を図り、地域への愛着を深めることをねらいといたしました。

評価ですが、薬園台公民館では近隣高校との連携は今年度からの試みで、当事業のほか、小学生向けの理科教室や書き初め教室も実施し、これまで関わる機会がなかった高校の先生や多くの生徒たちと交流することができました。

当事業で難しかったことは、鉢の重さが4キロにもなってしまい、安全に持ち帰ることができるかどうかをどう伝えるかということでした。公民館に事前に見本を置き、持ち帰

れるかなどの確認をしながら事業を案内しました。また、天候で夏が暑過ぎるなどの影響により、花の生育が悪かったり、種類が少なくなってしまうこともあるようです。

当事業では、園芸科の生徒7名が講座のフォローをしてくれ、参加者からは「高校生との会話が楽しかった」「花の選び方のアドバイスが的確だった」などの声が上がりました。また、高校生がつくる野菜や花の販売への質問も多く、関心の高さがうかがえました。地域の魅力を知り、また、地域住民が交流することで、愛着がさらに深まったと感じました。また、高校生も地域の方に喜んでもらおうと丁寧に準備し、参加者側から「大変よかったよ」と伝えられたことで自信が持てたのではないかと感じております。好評であったため、令和6年度も継続して事業を行ってまいります。

めくっていただいて、令和6年度の事業計画についてご説明いたします。年間事業計画は、様式4の地域課題、重点目標にリンクする形で、様式5において各事業を展開しております。

それでは、令和6年度事業計画の目玉事業から説明させていただきます。まず、様式5の1番、二重丸が薄くなっているのですが、「青少年の健全育成・居場所づくり」を目玉事業として挙げさせていただいています。ようやく通常に近い形で事業ができるようになり、子供たちの体験を通して、コミュニケーションの場を多く提供していきたいと思っております。1の「ふなばしハッピーサタデー事業」の中で、今回は新規で「DNAを見てみよう」、これは、生き物と細胞、DNAって何だろうということで、身近な食べ物からDNAを取り出して顕微鏡で観察します。また、エコクッキングを行います。目玉事業は、エコクッキング、環境に配慮した調理を挙げさせていただきました。親子での実施を検討しており、皮まで使い可食部分を増やして生ごみを減らす、傷まない保存の方法、保温・余熱クッキングでエネルギーを大切に使う、そして、残さずいただくなどです。楽しみながら環境を考える講座にしたいと思っております。

続きまして、新規事業になります。生涯学習コーディネーターとの共催事業になります。11番をご覧ください。「DIYこども工作教室」です。のこぎりやトンカチを使う機会が少ないため、親に口出しをされず、自分のつくりたいように作品をつくることなどをねらいとして実施します。キットでつくるのではなく、いろいろな形の木のかけらを使い、思い思いの作品をつくります。

続きまして、14番、リカレント講座です。セカンドキャリア、サードキャリア、第二、第三の人生における職業、人生の節目を迎えた人が自分のキャリアと向き合うことについて考えるミドル・シニアの方々に向けた講座を検討しております。40代、50代の方々に、自分を知ること、夢を実現するための行動計画を一緒に考えていくような講座を考えております。実際には、公民館に足を運んでいただくことがかなり難しい世代なので、周知方法などにも工夫が必要と考えております。

続きまして、15番、多文化共生になります。今年度は、国際交流課と連携し、国際交

流員によるベトナム講座を予定しております。

続きまして、18番、「ドライフラワー講座」になります。いろいろなことにチャレンジしたいけれども、知識もなく教わる機会もないと考える方がいらっしゃるのではないかと思います、手軽に習えて、創作の楽しみやかわいいものに囲まれる楽しみを感じていただけるのではないかと考え、ドライフラワー講座を企画いたしました。

続きまして、丸はついておりませんが、26番、「やくえんだい福寿大学」です。今回の講座の中で、地域の団体と初めて連携する講座があります。1つ目は、「自分たちの地域、薬円台地区の防災を考える」をテーマに、薬円台に特化した防災講座を行います。地域で活動している団体、Y-MAPさんと新たに連携することとなりました。Y-MAPとは、「薬円台マイ・エリア・プランニング」の略で、薬円台地区のまちづくりをコンセプトに活動している団体で、船橋SLネットワークの会員の方や、町会の副会長兼防災士さん、連合町会事務局兼民生委員さんなどがメンバーです。現在は、特に防災について活動されています。公民館も避難所であることから、一緒に地域のことを考え、住民の方に周知していただければと考えております。そのほか、今回は高齢者窓口である薬円台在宅介護支援センターの委託業者の方が新しくなりましたので、地域の方にも知っていただきたく、講座をお願いしようと進めております。

また、薬円台公民館の様式5にはありませんが、東部公民館の事業計画、様式5の中の25番になります。「地域力の活性化・地域活動団体の育成」にあります「地域課題発見・解決事業」におきまして、現在、市民公益活動公募型支援事業にも採択された市民団体の方と事業について検討しております。

薬円台公民館からは以上となります。

○大塚委員長

ありがとうございました。全公民館からご説明をいただきました。

委員の皆様には、ご質問、またご意見がございましたらお願いしたいと思いますが、いかがでございでしょうか。

全体を見まして、大変な数の事業があるなということでございますが、現在、日本における出生率の減少、高齢者の数が多くなる、貧富の差が激しくなっているという、社会情勢がますます厳しくなってくる時代に入ってきたのかなど。また、貧富の差が激しいということは、学校に行っていない子供たちが出てきているということも現実的に受け入れるということ。

公民館の職員の皆さんが以前に比べると減少している。これも事実だと思います。その中でこれだけの事業を行うということは、皆さん相当な負担があるかと思えます。そういうことを踏まえながら、私どもも協力しつつ、市民のための市の前線基地とっては何ですが、そこがきちんとしていないと、またいろいろな問題が噴出するだろうと思えます。お互いが助け合いながら、市民のためにここまでご努力いただいていることに対しては

我々は感謝しなければいけないなと思います。一つ一つ丁寧にやるということは、今までずっと私も見てきて、大変だなと思います。毎年、全ての公民館に最低でも1回は職員の方とお話ができる見学に行かせていただいていますけれども、本当にあれだけの人数でこれだけの事業をやっていくというのは、並大抵ではない時間と労力が必要だなと思って、心から感謝申し上げます。

それでは、令和5年度の事業評価及び令和6年度の事業計画について採決をさせていただきますが、各公民館一括して承認の採決をすることといたします。ご承認いただける方は挙手をお願いいたします。

(全員挙手)

○大塚委員長

全員賛成ということでいただきました。ありがとうございました。

それでは、次に、「社会教育関係団体登録申請（新規）について」、薬田台公民館長さんからご説明がありますので、よろしくをお願いいたします。

○薬田台公民館長

それではご説明させていただきます。

「非公開審議」

議題4の社会教育関係団体の登録（新規）についての審議は、船橋市情報公開条例第7条の不開示情報を審議することから、同条例第26条第2号に該当するため非公開となります。

また、非公開審議であるため、船橋市附属機関等の会議の公開実施要項第8条第3号の規定に基づき、記載を省略します。

議題4 社会教育関係団体の登録（新規）について 承認

○事務局（東部公民館長）

本日のご審議につきましては、議題が全て終了いたしましたところでございます。ありがとうございます。

この場をお借りしまして、各委員の皆様につきましては、公民館運営審議会の委員任期がちょうど2年で、今回満了ということで、実質的にはこのたびの会議が最後となります。

す。

2年間、皆様からご指導、ご助言いただく中で公民館事業に取り組んでまいりました。本当にありがとうございました。ご助言を基に、令和6年度、事業計画一覧に基づき、取り組んでまいりたいと思います。

ありがとうございました。

○大塚委員長

それでは、長時間の審議、お疲れさまでした。これをもちまして、令和5年度第5回東部公民館運営審議会を閉会といたします。いろいろありがとうございました。

午後5時25分閉会

令和 6年 月 日

議事録署名人 _____ 印